



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年7月31日

上場会社名 株式会社ファンデリー 上場取引所 東  
 コード番号 3137 URL <http://www.fundely.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 阿部 祐祐  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 杉田 雅治 (TEL) 03(6741)5880  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の業績 (平成29年4月1日～平成29年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	804	3.5	144	25.1	144	19.2	91	19.0
29年3月期第1四半期	777	18.0	115	9.9	121	29.9	77	25.9

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第1四半期	14.40		14.18	
29年3月期第1四半期	12.13		11.94	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
30年3月期第1四半期	百万円 2,260	百万円 1,952	% 86.4
29年3月期	2,240	1,860	83.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 1,952百万円 29年3月期 1,860百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,791	15.2	339	37.4	339	33.4	217	35.9	34.22
通期	3,640	12.8	681	12.1	680	10.3	436	10.6	68.54

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 5「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	6,370,500株	29年3月期	6,370,500株
30年3月期1Q	—株	29年3月期	—株
30年3月期1Q	6,370,500株	29年3月期1Q	6,351,192株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	5
(会計方針の変更) .....	5
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費に力強さを欠くものの、政府・日銀の政策により企業収益や雇用環境に改善の動きがみられ緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国新政権の政策に対する不安や英国のEU離脱といった世界経済の減速懸念から、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社におきましてはMF D事業において、定期購入サービスである「栄養士おまかせ定期便」の利用者拡大及び健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の紹介ネットワーク拡大を軸に推し進め、新規・定期購入顧客数の拡大に努めました。

マーケティング事業においては、健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の2誌に掲載する広告枠の販売が順調に推移しました。また、健康食通販カタログ『ミールタイム』の紹介ネットワークを活用した業務受託についても、新規クライアントの開拓や既存クライアントからの複数案件の獲得により順調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は804,398千円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益は144,761千円（同25.1%増）、経常利益は144,903千円（同19.2%増）、四半期純利益は91,709千円（同19.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① MF D事業

当セグメントにおきましては、従来より実施している季節ごとの商品入れ替えのみならず、より具体的な疾病の予防が期待できる食材を使用した新ブランド「medical+mealtime（メディカル ミールタイム）」を中心とした新商品の開発、また、紹介ネットワークの拡大と深耕による新規顧客の獲得に努めました。

さらに、当社の管理栄養士・栄養士が顧客の疾病、制限数値、嗜好に合わせて食事を選び定期購入できるサービス「栄養士おまかせ定期便」への積極的な移行を中心として販売に注力した結果、MF D事業における売上高は732,503千円（前年同四半期比0.3%増）、セグメント利益（営業利益）は170,833千円（同10.0%増）となりました。

#### ② マーケティング事業

当セグメントにおきましては、健康食通販カタログ『ミールタイム』及び『ミールタイム ファーマ』の2誌による広告枠の販売、また、紹介ネットワークを活用した業務受託において複数の案件を獲得した結果、売上高は71,894千円（前年同四半期比52.9%増）、セグメント利益（営業利益）は51,138千円（同45.9%増）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### ① 総資産

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末より19,481千円増加し、2,260,272千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加36,590千円、商品の増加23,075千円があった一方、売掛金の減少47,212千円によるものであります。

#### ② 負債

当第1四半期会計期間末における負債は前事業年度末より72,228千円減少し、307,736千円となりました。これは主に、買掛金の増加14,241千円、未払金の増加12,649千円があった一方、未払消費税の減少21,356千円、未払法人税等の減少77,719千円によるものであります。

#### ③ 純資産

当第1四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より91,709千円増加し、1,952,535千円となりました。これは、利益剰余金の増加91,709千円によるものであります。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期累計期間の業績及び今後の見通しを検討した結果、現時点においては平成29年4月28日付「平成29年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,714,500	1,751,091
受取手形	6,004	4,935
売掛金	185,565	138,353
商品	222,820	245,895
仕掛品	42	1,515
貯蔵品	602	476
その他	45,867	53,325
貸倒引当金	△137	△72
流動資産合計	2,175,266	2,195,521
固定資産		
有形固定資産	9,808	9,680
無形固定資産	9,265	8,620
投資その他の資産	46,450	46,450
固定資産合計	65,524	64,751
資産合計	2,240,791	2,260,272
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	103,762	118,004
未払法人税等	134,756	57,037
賞与引当金	18,002	10,837
その他	118,019	116,426
流動負債合計	374,541	302,306
固定負債		
資産除去債務	5,424	5,430
固定負債合計	5,424	5,430
負債合計	379,965	307,736
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	274,035	274,035
資本剰余金	224,035	224,035
利益剰余金	1,362,756	1,454,465
株主資本合計	1,860,826	1,952,535
純資産合計	1,860,826	1,952,535
負債純資産合計	2,240,791	2,260,272

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	777,155	804,398
売上原価	337,128	339,663
売上総利益	440,026	464,734
販売費及び一般管理費	324,307	319,972
営業利益	115,719	144,761
営業外収益		
受取手数料	111	117
保険解約返戻金	1,218	—
受取返戻金	4,500	—
その他	4	25
営業外収益合計	5,834	142
経常利益	121,554	144,903
税引前四半期純利益	121,554	144,903
法人税等	44,485	53,194
四半期純利益	77,068	91,709

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

当社は当第1四半期会計期間よりたな卸資産の評価基準及び評価方法において商品の評価方法を従来の移動平均法による原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)から総平均法による原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)へ変更しております。

この変更は、当社の在庫管理システムを整備することで、実態に則したたな卸資産評価額の算定及び期間損益計算を実現することを目的として行ったものです。

なお、当第1四半期累計期間において、四半期財務諸表に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	MFD	マーケ ティング	計			
売上高						
外部顧客への売上高	730,140	47,014	777,155	777,155	—	777,155
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	730,140	47,014	777,155	777,155	—	777,155
セグメント利益	155,249	35,052	190,301	190,301	△74,581	115,719

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用△74,581千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	MFD	マーケ ティング	計			
売上高						
外部顧客への売上高	732,503	71,894	804,398	804,398	—	804,398
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	732,503	71,894	804,398	804,398	—	804,398
セグメント利益	170,833	51,138	221,971	221,971	△77,210	144,761

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用△77,210千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。